

令和5年度の重点課題

○上体起こし

県平均値かつ全国平均値より低い学年が多く、改善が必要である。

○女子

走ること（「50m走」「20mシャトルラン」）において県平均値かつ全国平均値より低い学年が多い。

○経年変化を見てみると、令和4年度より県平均値かつ全国平均値より低い項目が増えた学年が多い。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○令和5年度も第5学年だけでなく、全学年で新体力テストを実施した。

○新体力テストでA判定の児童に「校内体力優秀賞」、前年度より判定が向上した児童に「校内体力向上賞」の表彰状を出し、意欲を継続させた。

○上体起こしにつながる運動を授業の中で取り入れた。

○学年の実態に合ったカードを作成し、めあてをもたせて、体育科での授業および業間体育での3分間走の取組を継続した。

○7月の東広島市水泳記録会や10月の東広島市陸上記録会への参加に向け、学校代表選手以外の児童へも練習参加を促した。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	22.80	17.80	38.00	41.50	33.50	9.60	148.50	17.00	53.30	第5学年	19.80	18.80	46.60	42.30	39.80	9.80	158.50	15.30	60.80

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	22.80	17.80	38.00	41.50	33.50	9.60	148.50	17.00	53.30	第5学年	19.80	18.80	46.60	42.30	39.80	9.80	158.50	15.30	60.80

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	100.00	0.00	0.00	0.00	第5学年	40.00	60.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・体育科のサーキット運動で3分間走の取組を継続し、持久力を付ける。
- ・上体起こしの課題を克服するために、器械運動の領域の授業をする時にゆりかご運動など上体起こしにつながる運動を取り入れる。
- ・学習内容に応じて、隣接学年による合同体育授業をする。
- ・ボールや器械運動の教材を購入することで、運動量を向上させる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・4年生児童の東広島市球技交流会への参加に向けて、大休憩や昼休憩には、交流会不参加の4年生児童や、他学年の児童も含めて練習に取り組む。
- ・学年の実態に合ったカードを作成し、大休憩に「湯船マラソン」(3分間走)の取組を継続することで、持久力をつける。
- ・10月の東広島市陸上記録会への参加に向け、学校代表選手以外の児童へも練習参加を促す。
- ・新体力テストでA判定の児童に「校内体力優秀賞」、前年度より判定が向上した児童に「校内体力向上賞」の表彰状を出し、意欲を継続させる。

重点課題

情意面での課題

・男女とも運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と答えた児童の割合は100%だが、女子は「やや好き」と答えた児童が60%と多い。

体力面での課題

○男子
・「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、全国・県平均値より低い学年が多い。

○女子
・「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」において、全国・県平均値より低い学年が多い。

令和7年度の
重点目標値

○運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と答える児童100%を継続させる。

○「上体起こし」を県平均値かつ全国平均値以上にする。

○第3学年から第6学年のAB率－DE率を36%以上にする。